

(2) 学校での生活

①教科の好き嫌い

(32) 次の教科は好きですか、きらいですか。

(とても好き、好き、どちらともいえない、きらい、とてもきらい から選択)

A <小学生> (家庭科は、小学5・6年生のみ)

a 国語 b 社会 c 算数 d 理科 e 音楽 f 図工 g 体育
h 家庭科 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 外国語活動

B <中学生>

a 国語 b 社会 c 数学 d 理科 e 音楽 f 美術 g 保健体育
h 技術・家庭 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 英語

※「総合的な学習の時間」は平成15年度より追加

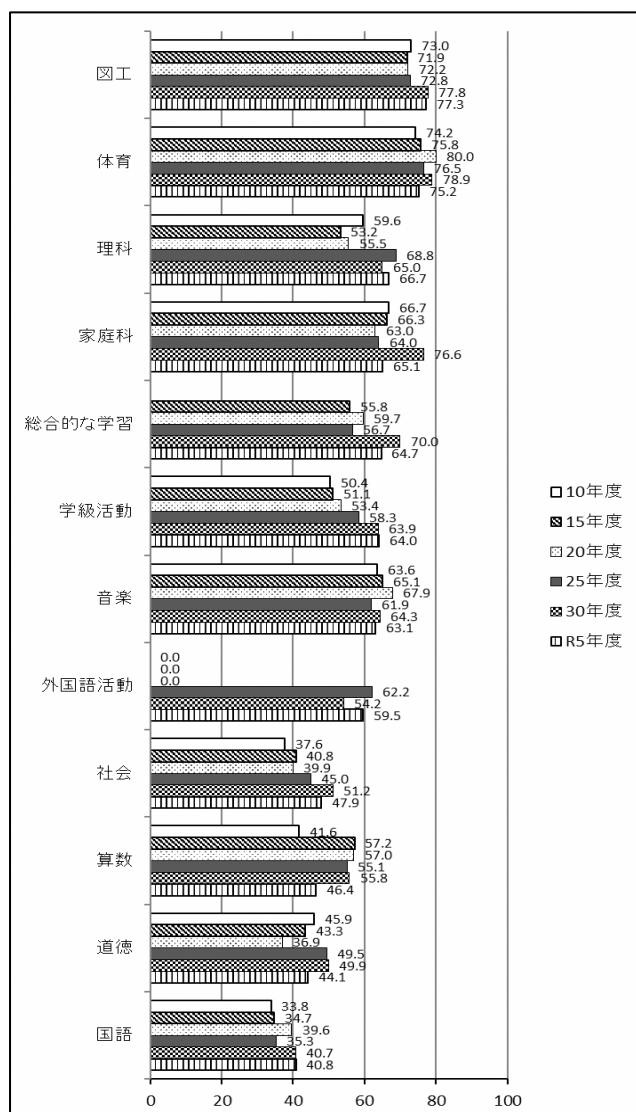
※小学生の「外国語活動」は平成25年度より追加

※グラフは「とても好き」「好き」を合わせたもの

※小学生の家庭科では小学4年生は除外

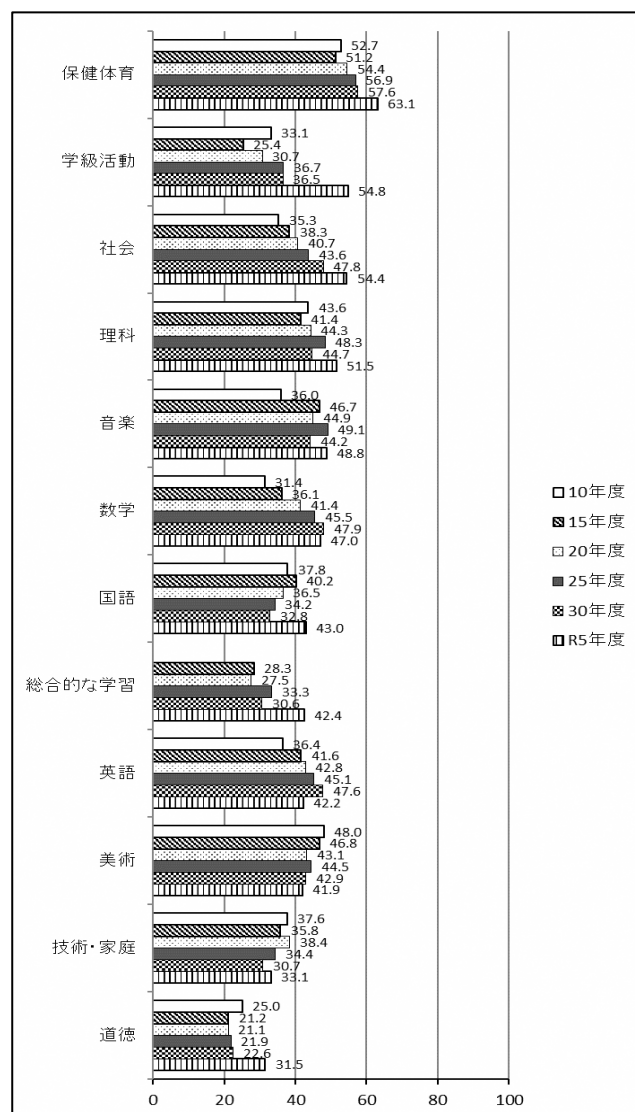
(32) 好きな教科 (小学生)

〈とても好き+好き〉



(32) 好きな教科 (中学生)

〈とても好き+好き〉



＜令和５年度の結果＞

小学生では、「とても好き」「好き」の割合が多くの教科で５割以上である。社会、算数、道徳、国語のみ５割を下回っている。特に算数は「きれい」「とてもきれい」の割合が３割を超えた。（基礎集計参照）

中学生では、「とても好き」「好き」の割合が５割以上なのは、保健体育、学級活動、社会、理科である。数学、美術、技術・家庭、英語、道徳では「きれい」「とてもきれい」の割合が２割を超え、特に数学と外国語においては３割弱となっている。（基礎集計参照）

また、小学生に比べ、中学生は、社会以外の教科において「どちらともいえない」の回答が多くなっている。（基礎集計参照）

＜平成１０年度から令和５年度を通しての変化＞

「とても好き」「好き」の割合がこの２５年で増加傾向にある教科は以下の通りである。

小学生：国語、学級活動

中学生：保健体育、社会、学級活動

また、令和５年度調査において「とても好き」「好き」の割合が過去最高の割合を付けた教科は、以下の通りである。

小学生：国語、学級活動

中学生：保健体育、学級活動、社会、理科、国語、総合的な学習の時間、道徳

この中でも、中学生の学級活動、国語、総合的な学習の時間においては、平成３０年度の調査の「とても好き」「好き」の割合と比較すると１０ポイント以上の大幅な増加となっている。



②行事の楽しさ

(33) 次の行事は楽しいですか。

(楽しい、どちらともいえない、楽しくない、参加したことがない、から選択)

A <小学生>

a 遠足・校外学習

c 運動会

B <中学生>

a 遠足・校外学習

c 体育祭

b 修学旅行などの宿泊行事

d 学芸会（学習発表会、音楽会等）

b 修学旅行などの宿泊行事

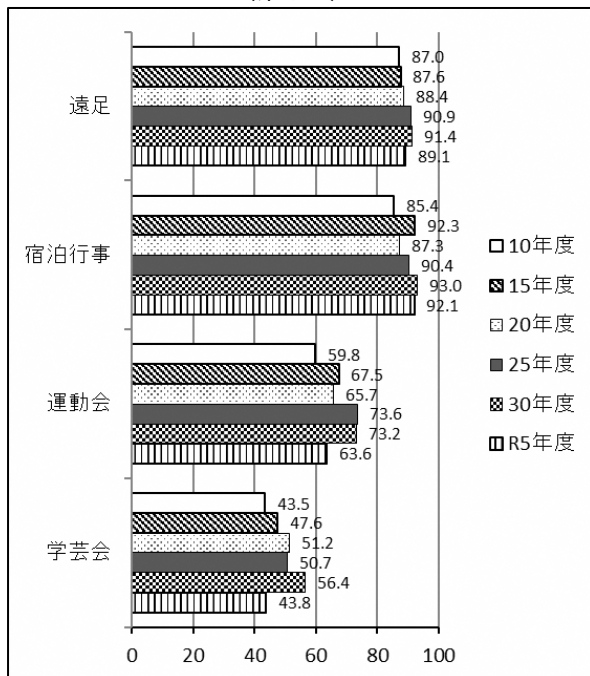
d 合唱コンクール（音楽祭）

※グラフの数値は、体験したことのある児童・生徒で「楽しい」と答えたもの

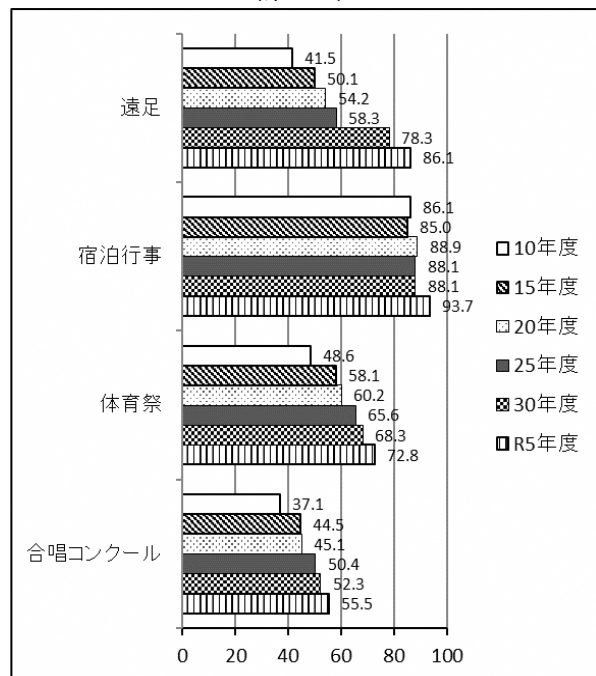
※小学生の「修学旅行などの宿泊行事」では、小学4年生は除外

※中学生の「体育祭」「合唱コンクール（音楽祭）」では、調査時期にはまだ経験していないので中学一年生は除外

(33) 行事の楽しさ（小学生）
〈楽しい〉



(33) 行事の楽しさ（中学生）
〈楽しい〉



<令和5年度の結果>

遠足において、「楽しい」と回答している割合は、小学生は9割弱、中学生が8割半ばとなっている。宿泊学習においては、小学生、中学生ともに9割程度の子どもが「楽しい」と回答している。小学生の運動会では、「楽しい」の割合が6割程度で、中学生の体育祭では、「楽しい」の割合が7割程度である。小学生の学芸会では、「楽しい」の割合が4割程度で、中学生の合唱コンクールでは5割以上の子どもたちが「楽しい」と回答している。(*)

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

小学生は、運動会と学芸会において「楽しい」と回答した割合が減少している。

中学生は行事に対して、「楽しい」と回答した割合は、年々増加傾向にある。

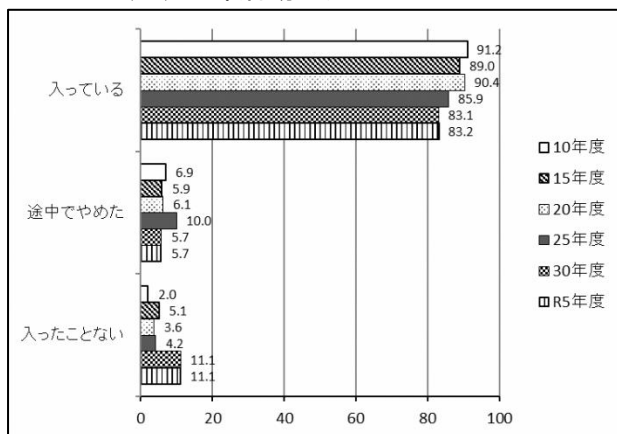
③部活動への参加状況と要望（中学生のみ）

(60) 部活動に入っていますか。

（2と答えた人はAを、1と答えた人はB～Fを教えてください。）

1. 入っている 2. 入っていたが今はやめた 3. 入ったことがない

(60) 部活動に入っているか



<令和5年度の結果>

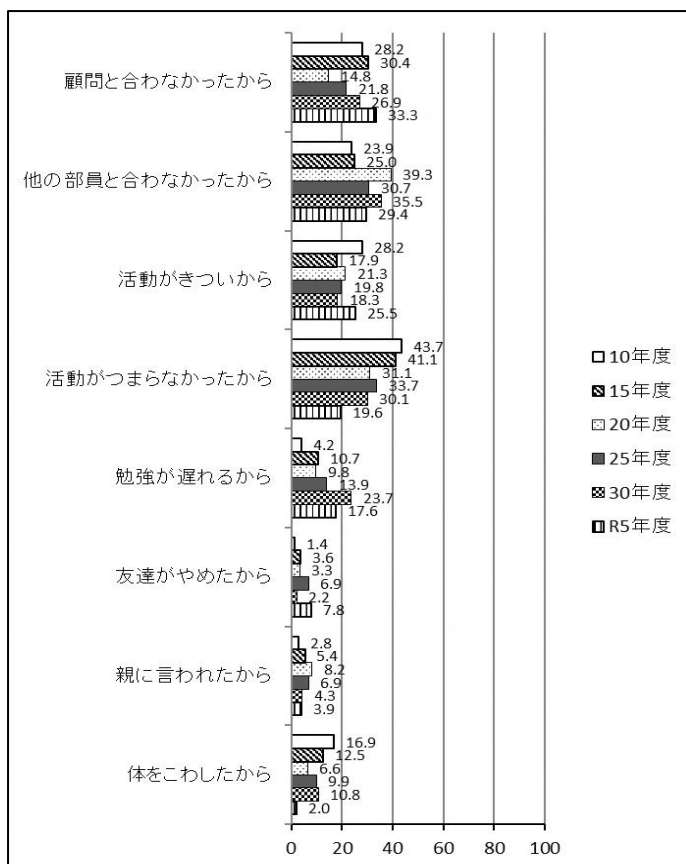
部活動への加入率は8割以上である。途中でやめた生徒は5.7%で、入ったことがない生徒は11.1%であった。

<平成10年度から令和5年を通しての比較>

部活動に入っている生徒は、平成25年度から減少傾向にある。

(61) やめたおもな理由は何ですか。（2つまで○）

1. 勉強が遅れるから 4. 体をこわしたから 7. 顧問やコーチと合わなかったから
 2. 親に言われたから 5. 友だちがやめたから 8. 活動がつまらなかったから
 3. 活動がきついから 6. 他の部員と合わなかったから 9. 他にやりたいことができたから



<令和5年度の結果>

最も多い退部理由は「顧問と合わなかったから」であり、過去最多となった。次いで「他の部員と合わなかったから」「活動がきつかったから」という順に続く。

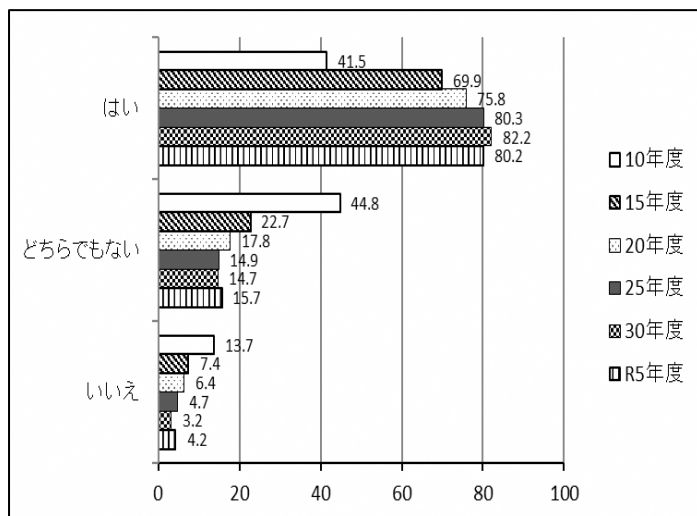
<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

この10年で増加しているのは「顧問と合わなかったから」である。「活動がつまらなかったから」という回答については減少傾向が見られる。

(62) 自分が入っている部の活動に積極的に参加していますか。

1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ

(62) 部活動に積極的に参加しているか

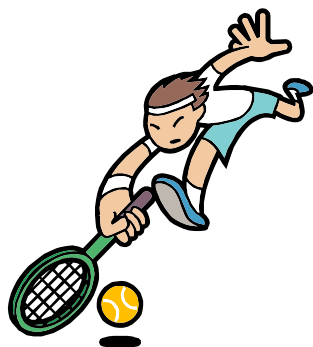


<令和5年度の結果>

部活動に積極的に参加していると回答している生徒の割合は、8割を超えている。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

積極的に参加している生徒は、調査開始時から平成30年度まではずっと増加し続けていたが令和5年度は2ポイント減少した。

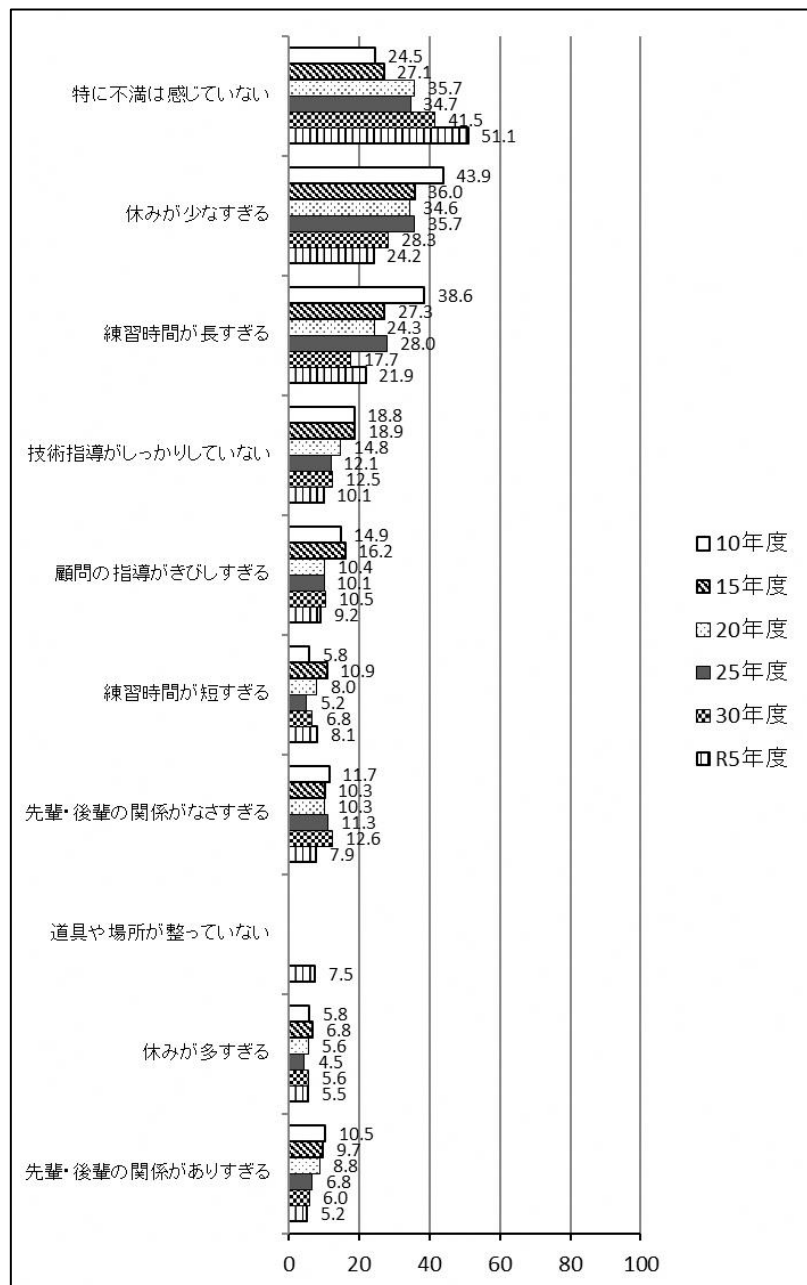


(63) 部活動で、不満を感じることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 練習時間が長すぎる | 6. 先輩・後輩の関係がなさすぎる |
| 2. 練習時間が短すぎる | 7. 顧問の指導がきびしすぎる |
| 3. 休みが少なすぎる | 8. 技術指導がしっかりしていない |
| 4. 休みが多すぎる | 9. 特に不満は感じていない |
| 5. 先輩・後輩の関係がありすぎる | 10. 道具や場所が整っていない |

※10. は令和5年度より追加

(63) 部活動で不満なこと



<令和5年度の結果>

「特に不満は感じていない」の回答が最も多い。不満として一番多いものは「休みが少なすぎる」、次いで「練習時間が長すぎる」である。両方とも練習に関する不満であり、先輩・後輩・顧問との人間関係よりも上回っている。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

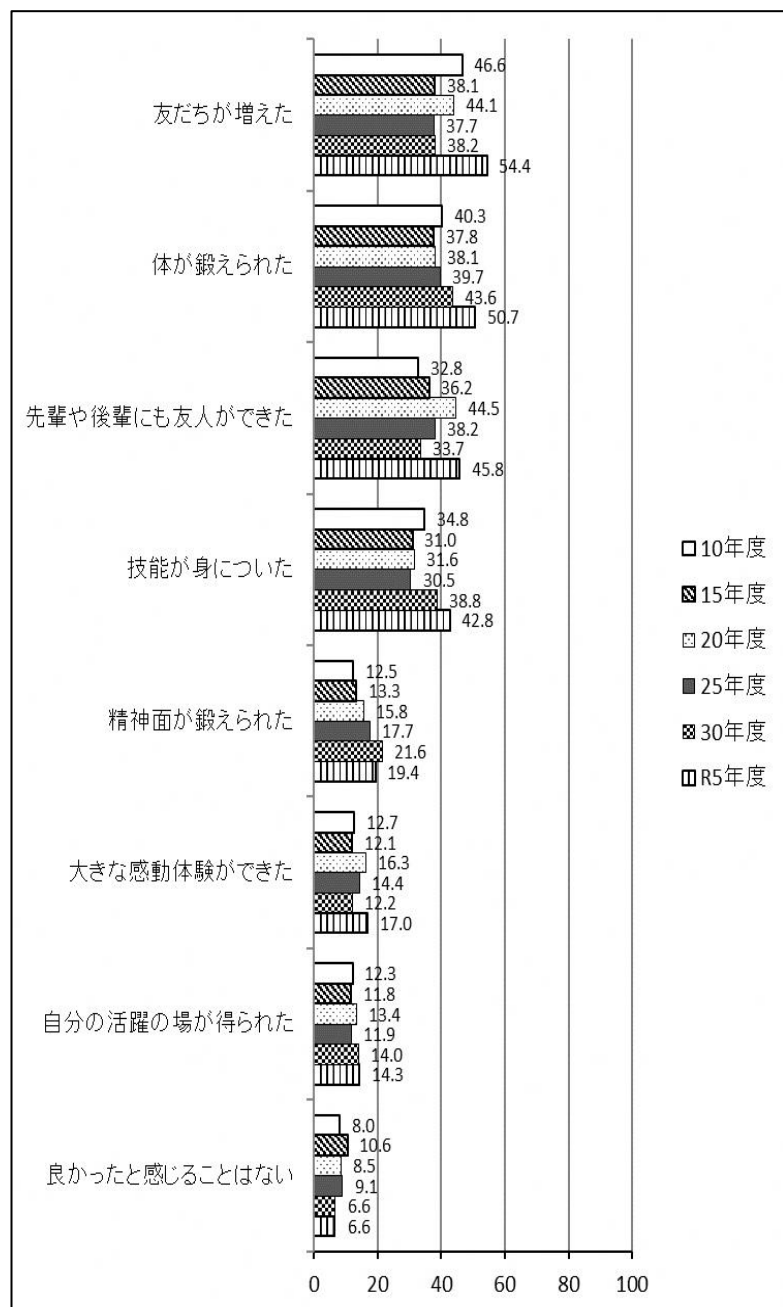
経年変化で見ても、「特に不満を感じていない」の割合が増加している。

25年間の各調査の中で、最も多い不満は継続して「休みが少なすぎる」である。

(64) 部活動に入っていて、よかったと感じることは何ですか。(3つまで○)

1. 体が鍛えられた
2. 技能が身についた
3. 精神面が鍛えられた
4. 友だちが増えた
5. 先輩や後輩にも友人ができた
6. 自分の活躍の場が得られた
7. 大きな感動を体験できた
8. よかったと感じることはない

(64) 部活動で良いこと



＜令和5年度の結果＞

部活動に入って、よかったと感じることは、「友だちが増えた」「体が鍛えられた」「先輩や後輩にも友人ができた」「技能が身についた」の順で回答が多い。どれも30%を超える割合である。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

平成30年度から令和5年度にかけて、「友だちが増えた」の回答が、16.2ポイント上がった。

「先輩や後輩にも友人ができた」のは、12.1ポイント上がった。



④教師への要望

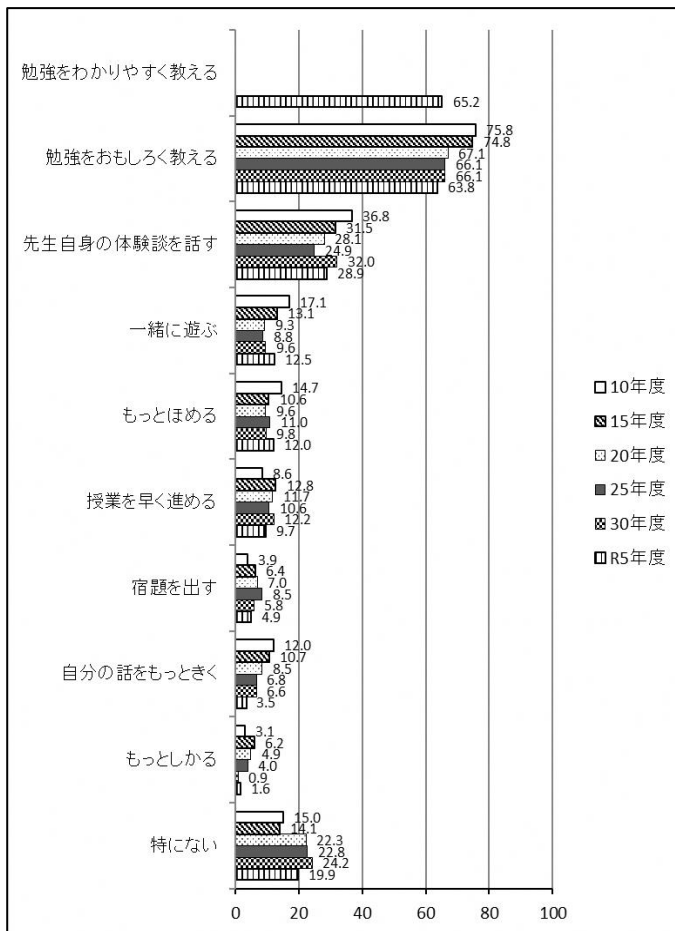
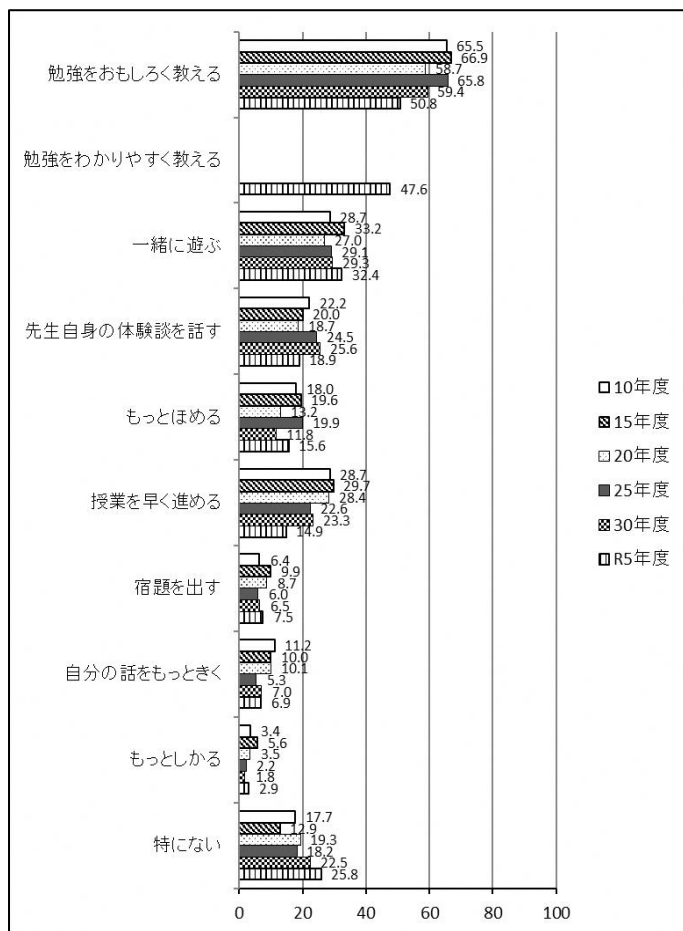
(28) 学校の先生に、どんなことをしてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 勉強をおもしろく教える | 6. 宿題を出す |
| 2. 勉強をわかりやすく教える | 7. 授業を早く進める |
| 3. 自分の話をもっときく | 8. もっとしかる |
| 4. 一緒に遊ぶ | 9. もっとほめる |
| 5. 先生自身の体験談をもっと話す | 10. 特にない |

※2. は令和5年度より追加

(28) 先生にしてほしいこと（小学生）

(28) 先生にしてほしいこと（中学生）



＜令和5年度の結果＞

小学生は「勉強をおもしろく教える」、中学生は、「勉強をわかりやすく教える」が最も多い。

(*)

次いで多いのは、小学生は「勉強をわかりやすく教える」、中学生は「勉強をおもしろく教える」であり、学習に関することが上位を占めている。

小学生、中学生ともに「宿題を出す」と「もっとしかる」「自分の話をもっときく」に回答している子どもは少ない。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

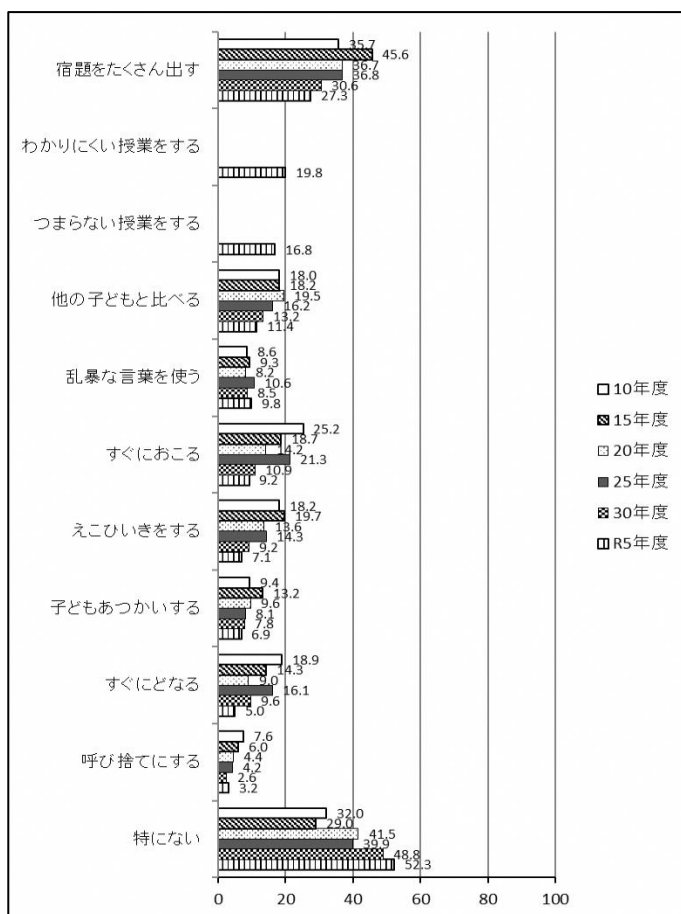
小学生では「特にない」が増加している。

(29) 学校の先生に、どんなことをやめてほしいですか。（3つまで○）

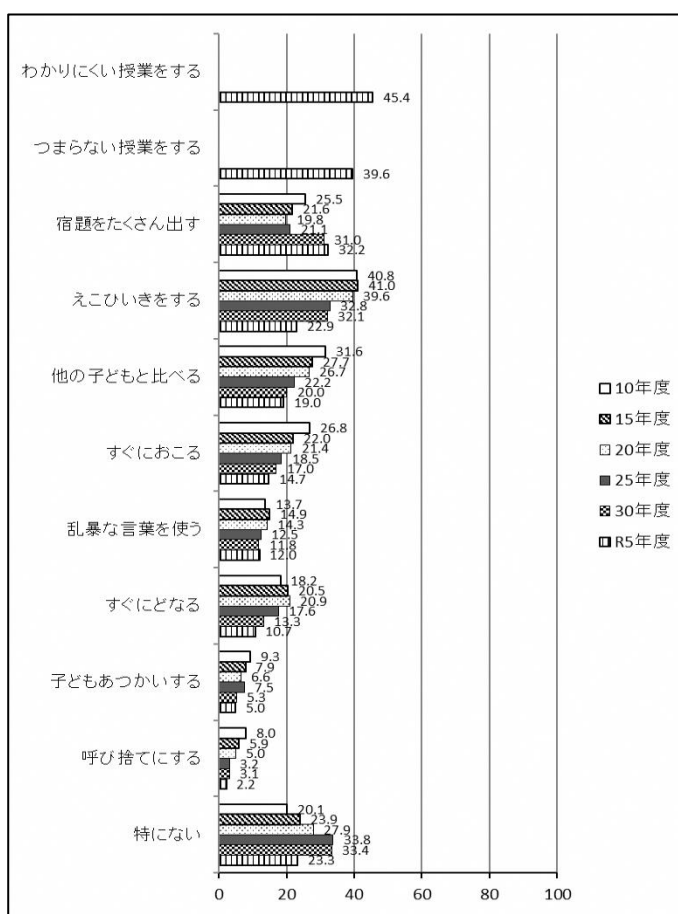
- | | |
|----------------|----------------|
| 1. つまらない授業をする | 7. すぐにどなる |
| 2. わかりにくい授業をする | 8. 呼び捨てにする |
| 3. 子どもあつかいをする | 9. 乱暴な言葉を使う |
| 4. えこひいきをする | 10. ほかの子どもと比べる |
| 5. 宿題をたくさん出す | 11. 特にない |
| 6. すぐにおこる | |

※1. 2. は令和5年度より追加

(29) 先生にやめてほしいこと（小学生）



(29) 先生にやめてほしいこと（中学生）



<令和5年度の結果>

小学生では「特にない」と回答している割合が最も高い。

中学生では、「わかりにくい授業をする」ことをやめてほしいという回答が最も多かった。また、「すぐにおこる」「すぐにどなる」「乱暴な言葉を使う」「他の子どもと比べる」も小学生よりも中学生の方が高い割合で回答していた。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

小学生での「すぐにおこる」「すぐにどなる」は25年度の調査から減少している。中学生での「宿題を出す」と「乱暴な言葉を使う」以外の項目は10年間で減少している。(*)